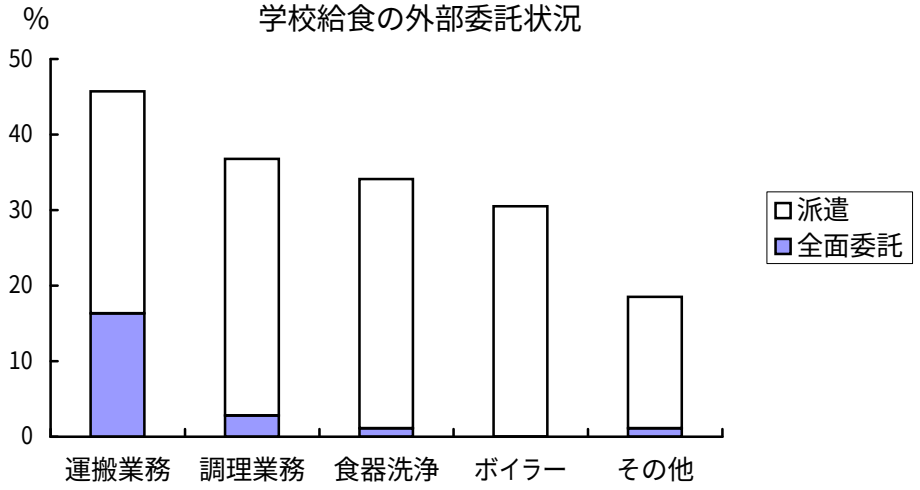
６　学校給食業務

(1) 学校給食業務の外部委託状況

学校給食の業務の運営については、単独校調理場方式、共同調理場方式のいずれを選択するかということを含めて、各設置者の判断に委ねられており、本県における完全給食および補食給食を実施している学校のうち、学校給食業務を外部に委託している学校の状況は、平成２０年５月１日現在において下記のとおりである。



	運搬業務	調理業務	食器洗浄	ボイラー	その他
全面委託	46　校	8　校	3　校	0　校	3　校
	16.3　%	2.8　%	1.1　%	0.0　%	1.1　%
派　　遣	83　校	96　校	93　校	86　校	49　校
	29.4　%	34.0　%	33.0　%	30.5　%	17.4　%
計	129　校	104　校	96　校	86　校	52　校
	45.7　%	36.9　%	34.0　%	30.5　%	18.4　%

(注1)　委託比率は、完全給食および補食給食を実施している市町立学校数(282)に対する外部委託学校数の比率である。（ただし、製パン加工、炊飯加工の業務総合整備、ねずみ害虫駆除等を除く。）

(注2)　１校で、２つ以上の業務を委託している場合があるので、全体の合計数は一致しない。

(注3)　その他業務の内訳（浄化槽、機械点検、施設設備維持管理、配膳業務等）

(2) 学校給食調理場の形態

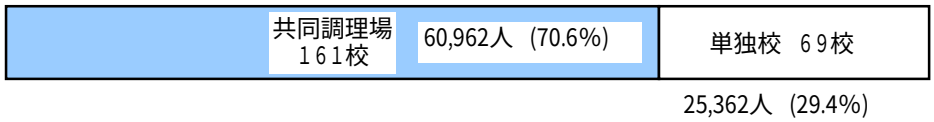
学校給食調理場を形態別に見ると、昭和39年度から共同調理場の施設設備に対する国庫補助金制度が開始されて以来、共同調理場が年々増加し、平成20年度においては、18市町32か所設置されている。

調理場方式別に見ると、共同調理場方式によるものは、完全および補食給食の学校数で小学校161校、中学校46校、児童生徒数では小学校60,962人、中学校16,082人で、小・中学生の74%が共同調理場で調理された給食を食している。

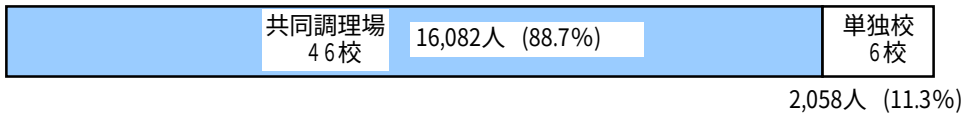
また、規模別の状況を見ると、最も多いのは食数1,001～1,500人の調理場(12か所)であるが、3,000食以上の調理場(10か所)が全体の31%を占めており、大規模な共同調理場が多いといえる。

①学校給食調理場の形態

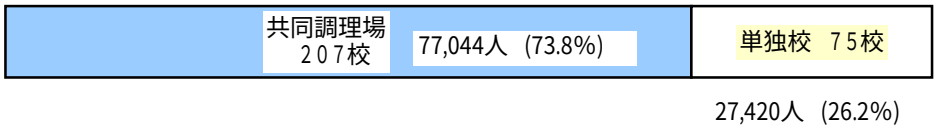
小学校　２３０校（８６，３２４人）



中学校　５２校（１８，１４０人）



総数　２８２校（１０４，４６４人）



②規模別共同調理場設置状況

食数	500人以下	501人～1,000人	1001人～1,500人	1,501人～2,000人	2,001人～2,500人	2,501人～3,000人	3,001人～4,000人	4,001人～5,000人	5,001人～7,000人	7,001人以上	計
設置数	2	7	12	0	1	0	2	2	4	2	32
比率%	6	22	38	0	3	0	6	6	13	6	100